

長与町
町制施行 50 周年
記念誌



軌跡

奇跡

きせき

貴石

すこやかな
未来をはぐくむ
長与町



長与町町制施行 50 周年記念誌
NAGAYO TOWN 50th anniversary

き
せ
き



すこやかな
未来をはぐくむ
長与町

幸福度
日本一のまちを
目指し

ごあいさつ

長与町は昭和44年1月1日の町制施行から、今年で50周年という記念すべき年を迎えることができました。

50年という歳月のなかで、過去の歴史を現代に受け継ぎ、自然環境と都市機能が調和した「暮らしやすい町」として県内では最大の人口を抱える町に発展してまいりました。

これもひとえに、町民の皆様のご努力とご熱意の賜と深く感謝を申し上げます。

これからも、町民の皆様と共に、さらなる50年にむけて、魅力あるまちづくりに取り組んでまいりますので、皆様方の温かいご指導、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



長与町長
吉田 慎一



すこやかな
未来をはぐくむ
長与町

きせき

長与町
町制施行
50周年
記念誌

Contents

- 01 ごあいさつ

- 04 第1章 軌跡
- 06 長与町が誕生するまで
- 08 長与町の歴史50年
- 14 長与町今昔写真
- 18 元町長インタビュー
- 19 ながよを支えた人たち

- 20 第2章 貴石
- 22 受け継いできたもの
- 26 守ってきたもの
- 28 伝統を受け継ぐ人たち

- 30 第3章 奇跡
- 32 長与町の今、そして未来
- 32 LIFE 生活
- 36 STUDY 学び
- 38 HEALTH 健康
- 40 躍動する長与人
- 42 長与の若い芽
- 44 未来にはばたく子どもたち
- 50 50年後の長与町未来予想図「絵画」
長与町に対する思い「標語」

- 52 町民アンケート
- 54 町長インタビュー
- 55 数字で見る50年の歩み
- 56 長与町概要

NAGAYO TOWN 50th anniversary

き
せ
き
を
重
ね
て
未
来
を
は
ぐ
く
む



軌跡



貴石

時を積み重ね
移り変わってきた
歴史や人の営みの**軌跡**

途絶えることなく受け継がれ
はぐくまれてきた
貴石のような宝物
現在そして未来につながっていく
尊い**奇跡**の源

すべてを大切に
ここから次の一歩へ

ながよをつくる
3つの「きせき」



奇跡



ながよをつくる
3つのきせき

第1章

軌跡

時を積み重ね
移り変わってきた
歴史や人の営みの軌跡

きせきを重ねて
未来をはぐくむ

軌跡

時を積み重ね
移り変わってきた
歴史や人の営みの軌跡

長与町が誕生するまで

History

長与町の歴史は深く、遡ること約2万年。
長与町が誕生するまで
どのような変化を遂げてきたのでしょうか。

長与の
はじまり

大村藩
時代



▲堂崎遺跡（長与町岡郷堂崎）

【旧石器時代～縄文時代】

堂崎遺跡は、約2万年前の旧石器時代の石器のほか、縄文時代、弥生時代の土器などが発見されており、旧石器時代から縄文・弥生・古墳文化と長期間継続的に人が住んでいたことが分かっています。

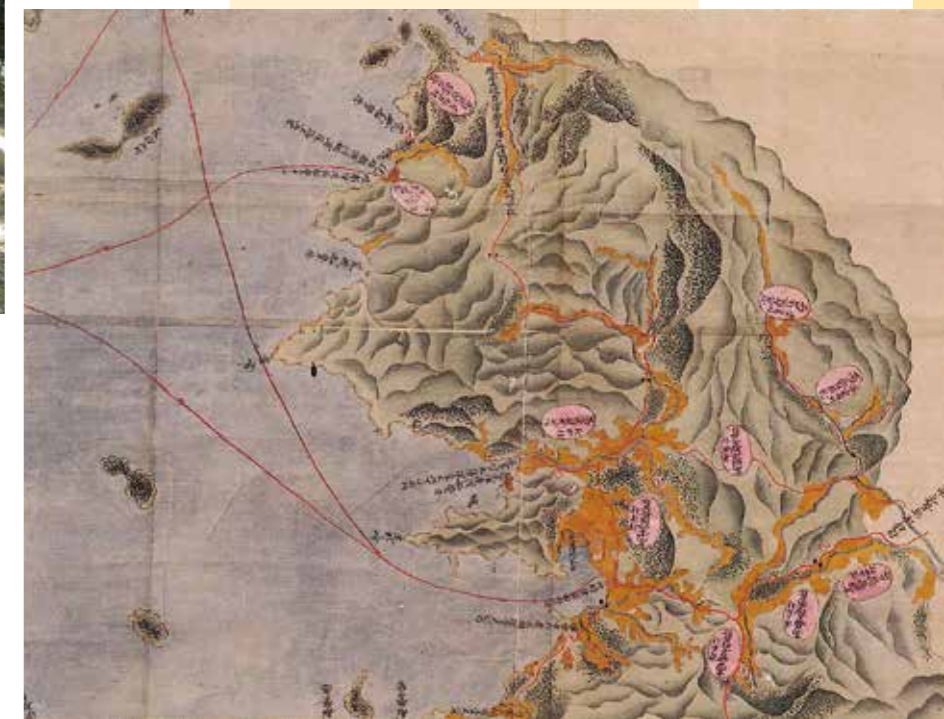


▲中尾城跡

旧長与村は大村藩に属し、村の行政は総括して、藩の役人が支配していました。

長与村は、大村藩の領内でも長崎街道での公用の運送に携わる助郷の役割を担っており、村として格式を持っていました。

長与町内にはいくつか山城の跡があり、『大村郷村記』によると、当時の地頭長与権之助により「中尾城」「浜の城」が築かれたとあります。



▲大村藩絵図

長与の 名前の由来

神功皇后が朝鮮半島に遠征した帰り道、式見村に上陸して陸路を長与まで来ると夜になってしまいました。野営をしなければならなくなり、その夜がとても寒くて一睡もできず夜明けを待ったといい、「ああ長い夜だな」ともらし、その「長い夜」が「長与」に転じたという説があります。

また、この地が長い入り江になっていたことから「長江」(ながえ)と呼ばれ、それがなまって「長与」(ながよ)になったとの説もあります。



明治4年に廃藩置県が行われ、明治6年には戸長役場が置かれました。明治11年には、長与は南北に分かれ、明治12年には区長村会も設けられました。

明治22年、長与村は自治体としてスタートし、区域を9郷に分割。嬉里郷に役場を設けました。当時の人口は5,500人程度で、役場職員は村長を含めて6人でした。



▲長与村役場(昭和33年)



▲舟津橋を通るバス



▲高田越付近 鉄道工事(明治30年頃)

明治30年に長崎～長与間の鉄道が開通。翌年には松ノ頭トンネル竣工により長崎～大村間開通。大正11年郵便局開局。昭和28年には長崎バスの長与乗り入れも開始され、徐々に発展していきます。



▲長与付近を通る列車

自治体としてスタート

長与町の歴史 50年

1969
2019

時を積み重ね 移り変わってきた 歴史や人の営みの軌跡



▲長与浄化センター完成(昭和56年)



第1回長与川まつり(昭和56年)▶

昭和44年1月1日に町制を施行し、新しく人口13,200余人の長与町が誕生しました。町制施行後には、上下水道、道路交通網の整備、教育文化の充実、福祉事業の推進、産業の振興など「自然と調和した住みよい町づくり」をめざした近代的な町づくりが着々と進められました。



▲長与町役場(昭和44年)

「広報ながよ」で見る長与町の歴史

昭和29年から毎月発行している「広報ながよ」とともに当時の様子を振り返ります。



1980
昭和55年4月号
第289号

新旧住民のコミュニティの場 長与町青空市

昭和55年3月9日に『長与町青空市』が大盛況のうちにスタート。農家や商工会、漁協などの協力ですすめられてきた青空市は、ベッドタウン化する長与町の新旧住民のコミュ

ニティの場となり、町の名物行事として定着していきました。平成14年12月には特産品直売所「まんてん」へと姿を変え、今でも町民の皆さまに親しまれています。

1969-1981



▲長崎国体一般女子ソフトボール(昭和44年)▶

長崎国体で幕を開けた長与町

1969 (昭和44年)	町制施行(1月1日) 長与町公民館完成 長崎国体開催 (本町は一般女子ソフトボール会場)
1973 (昭和48年)	長与町立高田保育所開所 老人憩いの家「丸田荘」完成
1975 (昭和50年)	高田地区公民館完成
1977 (昭和52年)	長与中学校新校舎完成 洗切小学校新校舎完成 第1回長与町民俗芸能大会
1979 (昭和54年)	県立長崎北陽台高等学校開校
1980 (昭和55年)	長与北小学校開校 上長与地区公民館完成
1981 (昭和56年)	長与浄化センター完成 長与第二中学校開校 長与町勤労青少年ホーム完成 第1回長与川まつり開催

町制施行から50年。
1969年(昭和44年)からの
長与町の歴史を振り返ります。



▲長与ダム完成(昭和60年)



▲現在の長与ダム



▲長与町民体育館(平成5年)

1982-1993



▲大水害の復旧作業に汗を流す北陽台高校の生徒たち



▲長崎大水害(昭和57年7月23日)



▲長与町役場新庁舎完成(昭和63年)

長崎大水害から復興を果たし新庁舎完成

人口増加に伴う住民ニーズの多様化、行政需要の増加に対応するため、モダンな新庁舎が完成し「明るく、住みよい町づくり」の拠点として、また、町民のシンボルとして、より一層町制の発展に寄与することとなりました。

「広報ながよ」で見る長与町の歴史

昭和29年から毎月発行している「広報ながよ」とともに当時の様子を振り返ります。

1983 昭和58年9月号 第330号 長与ひまわり 劇的な逆転サヨナラ勝ち



昭和58年8月23日、全国1200チームが参加した第3回全国家庭婦人ソフトボール大会スローピッチで、長与ひまわりが劇的な逆転サヨナラ勝ちで相手を下し、初の日本一に輝きました。

この年はソフトボールの大会で長与ひまわりを含め、長与町役場(実業団)、長与イーグルス(一般男子)の3チームが全国大会へ出場するという、日本新記録を達成しました。この快挙は長与町のソフトボールの技術がいかに高度であるかを物語っています。

長与町のソフトボールの歴史は古く、昭和29年に第1回長与村民ソフトボール大会が開かれました。村民の親睦とコミュニティづくりをはかるため県下市町村に先駆け始められたものです。今年で65回目を迎える町民ソフトボール大会。これから先も長与町では、こどもから大人までソフトボールが愛されつづけていくことでしょう。

1993 (平成5年)	1992 (平成4年)	1989 (昭和64年) (平成元年)	1988 (昭和63年)	1987 (昭和62年)	1986 (昭和61年)	1985 (昭和60年)	1983 (昭和58年)	1982 (昭和57年)
長与川改修工事完了 長与町民体育館完成	町道長与中央線全線開通	長与町図書館開館 長与町健康センター開館 長与町武道館完成 長与町町歌「明日をひらく」発表	長与南小学校開校 長与町テニス広場オープン 長与町役場新庁舎完成	ふれあい広場(多目的広場)オープン 長与総合公園運動広場オープン	長与町ペーロン資料館完成 長崎市立長崎商業高校、 長崎市泉町・長与町に移転開校	長与総合公園プール完成 長与ダム完成	長与町働く婦人の家完成 長与町老人福祉センター「丸田荘」完成 長与北部地区多目的研修集会施設完成	長崎大水害発生(7月23日)、長与町で日本観測史上第一位、1時間雨量187ミリを記録。 死者6人、被害総額90億円 人口30,000人到達

長与町の歴史50年

1969
2019



▲北陽台

▲北陽台



▲長崎県立大学シーボルト校



未来を展望した 新しいまちづくりへ

ついに人口4万人を突破した長与町。自然環境と都市機能が調和した生活環境や、子育て・教育環境が充実した「暮らしやすいまち」として発展してきました。これから先「住みたい・住み続けたい・住んでよかったといわれる幸福度日本一のまち」を目指したまちづくりを進めていきます。



▲長崎がんばらば国体 少年女子ソフトボール(平成26年)



▲発掘された長与三彩(平成17年)



▲ウェザーフィールド町との姉妹都市締結(平成9年)



▲「平和で安全な町」宣言(平成6年)

1994-2019

History

長与町の歴史50年

1969
2019

2019 (平成31年 令和元年)	町制施行50周年を迎える(1月1日)
2017 (平成29年)	北陽台1丁目・2丁目の住居表示実施 長与中央橋開通
2016 (平成28年)	農産物加工施設「長与カラフル」完成 ねんりんピック長崎 ターゲット・バードゴルフ交流大会開催
2015 (平成27年)	クリーンパーク長与完成
2014 (平成26年)	長崎がんばらば国体 少年女子ソフトボール競技会開催 長崎がんばらば大会 フットベースボール競技会開催
2013 (平成25年)	長与小学校新校舎完成 長与町立高田保育所新園舎完成 長崎がんばらば国体リハーサル大会 (全日本総合女子ソフトボール選手権大会) 開催
2011 (平成23年)	長与町水道局新庁舎完成
2010 (平成22年)	町道中尾城線供用開始 時津リサイクルセンター完成
2008 (平成20年)	長与町海洋スポーツ交流館完成
2007 (平成19年)	長与南交流センター完成
2006 (平成18年)	複合障害者施設「ほほえみの家」完成
2005 (平成17年)	長与三彩発掘調査で長与三彩出土 高田越トンネル開通
2004 (平成16年)	長与町ふれあいセンター・健康センター完成
2003 (平成15年)	全国高等学校総合体育大会「長崎ゆめ総体」開催(男子ソフトボール競技・ヨット競技)
2002 (平成14年)	長与児童館完成(町内全小学校区設置完了) 長与町特産品直売所「まんてん」オープン
2001 (平成13年)	長与町老人福祉センター「丸田荘」完成 長与町ウォーキングセンター潮井崎交流館完成 まなび野1丁目〜3丁目の住居表示実施
1999 (平成11年)	県立長崎シーボルト大学開学 (現長崎県立大学シーボルト校) 人口40,000人到達
1997 (平成9年)	長与町「陶芸の館」完成 ウェザーフィールド町との姉妹都市締結 長与町民文化ホール完成
1996 (平成8年)	平和祈念碑完成(戦後50周年記念事業) 高田中学校開校
1994 (平成6年)	JR高田駅誕生 宿泊研修施設「つどいの家」完成 「平和で安全な町」宣言 中尾城公園オープン

長与町今昔写真

History

写真が語る長与町の今と昔。
変わらないもの、変わっていくもの、
変えていくものを感じてください。

長与ダム



現在

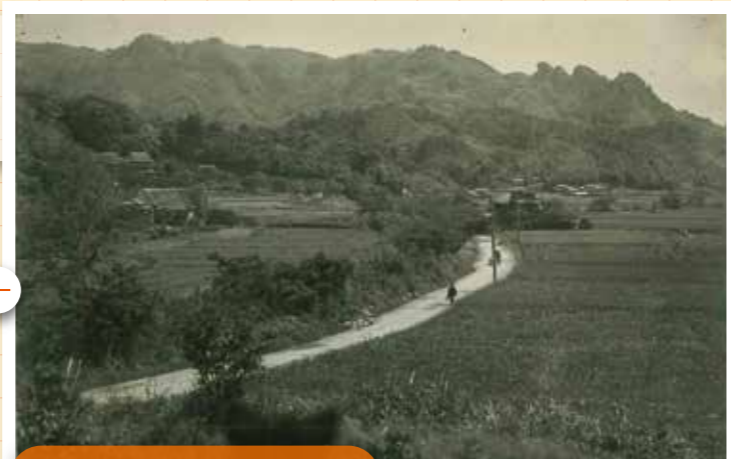


1979 昭和54年

三根郷第2浄水場付近



現在



1945~1953 昭和20~28年

池山



現在



1963 昭和38年



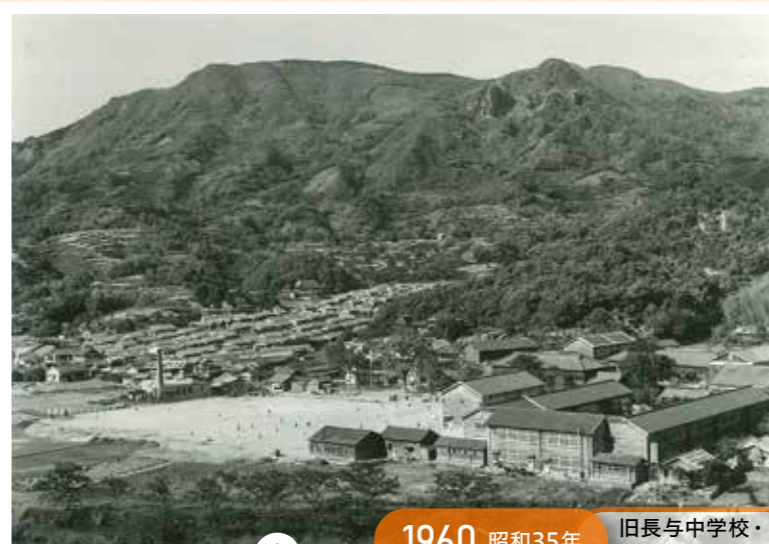
吉無田



現在



1959 昭和34年



1960 昭和35年

旧長与中学校・旧丸田住宅



現在

長与小学校・長与町役場

長与町役場



現在



1965 昭和40年

現在の図書館



1958 昭和33年

明治40年落成の村役場

西田原団地



現在

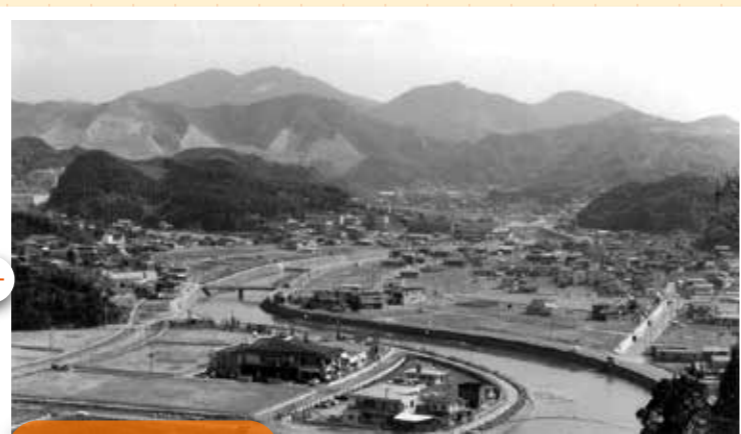


1955~ 昭和30年代

嬉里



現在

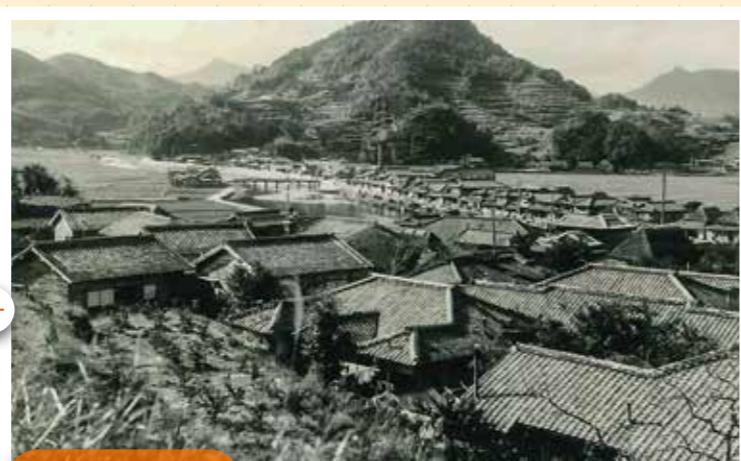


1976~ 昭和51年頃

佐敷川内より舟津、氷取方面



現在

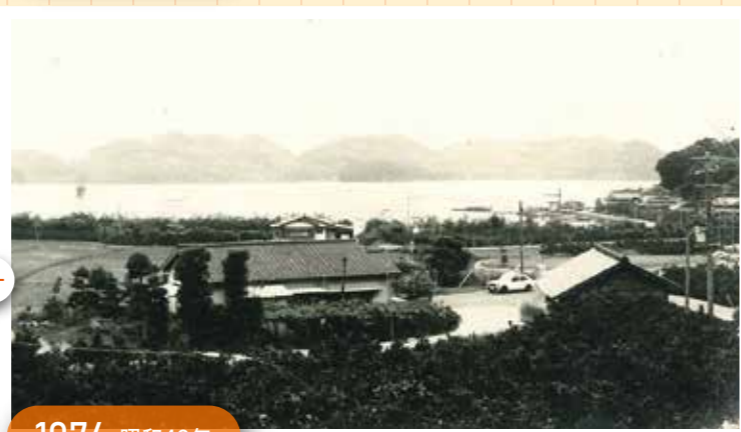


1950 昭和25年

前田川内



現在



1974 昭和49年

長与浦



現在



1965~ 昭和40年代

長与駅



現在



1996 平成8年



1965 昭和40年

長与駅前通り



現在



1965 昭和40年



1954 昭和29年

道ノ尾



現在



1987 昭和62年

青葉台入口



現在



1986 昭和61年

History

長与町今昔写真

追憶の景色

ここからまた先の未来へ

第11代町長



吉田 安親氏

在任期間
1972
▼
2000

私が職員になったのは、ちょうど終戦直後で、当時の役場は、戸籍係や配給係（米など）、民生係を担当しており、民生係は議会係と選挙係も兼務しておりました。当時の人口は、1万6百人くらいで人口の規模は今の4分の1くらいでしたから、今は50人くらいの民生委員も、昔は1人だけでした。

どうすれば町に人口が集まるかを勉強するため、昭和44年、自治大学に行かせて頂きました。ちょうどコンピュータが出てきたのが昭和40年頃で、将来は、職場に行かなくても自宅で仕事をできる世の中になると言われ、まちを綺麗に整備したら、人は何も言わなくても入ってくるかと教えられました。それから、私たちは長与の大改造を始めました。

私は昭和47年に町長就任直後、長与町の将来像の診断を、九州大学の先生にお願いしました。診断の結果はリゾート観光都市づくり、コミュニティのまちづくり、産業振興のまちづくりに力を尽くしなさいということでした。

私は助役を経て、町長になり、提案されたまちづくりを実行するため、環

境整備として、区画整理事業、公共下水道建設、治水ダムの建設、港湾の整備に着手しました。地主さんたちから土地を頂いて、河川の改修、道路の拡幅、公園、そうしたものを作っていききました。また、昭和48年には高田小学校区を選定し、地域住民が主体となって活動する高田地区コミュニティを立ち上げました。産業の振興については、国の補助事業を活用し、伝統のみかん産業を主として、畑地総合開発事業に取り組みしました。当時、長与のみかんは「ちようよみかん」と言われていて、値段も高く、石川県まで送っていました。まちづくりをするに当たって、反対も多かったですが、結局うまくいったのは町民の優しさがあったからです。

私は「天の刻は地の利に如かず、地の利は人の和に如かず」を教訓にまちづくりに精進しましたが、その教訓が現在まで受け継がれているようで、喜びを感じています。私の生涯は仕事に明け、仕事に暮れたといった感じですね。それも自分の希望の種ですけどね。



川口 美人氏

長与町議会議員
(昭和50年5月～平成19年4月)
長与町議会議長
(平成11年4月～19年4月)
長与町消防団団長
(昭和63年4月～平成11年6月)

昔の長与は田んぼが多く、人口も少なかったですが、官民一体となって団地開発を進めながら発展してきました。まちづくりにおいては、新都市計画法ができてからは、消防車も通れる広い道路が整備されていきました。団地造成の波で人口が増えていく中、新旧町民と一緒に活動するために、高田コミュニティをはじめ各小学校区でコミュニティが組織されていきました。現在の町民ソフトボール大会も長与村の頃から行われており、住民同士の繋がりを深めるための大切な行事でした。私自身、消防団や自治会長も経験しました。町議員時代、皆前地区に地域の拠点となる「自主防災センター」を建設するという一つの大きな目標を達成でき、周りの皆さまに支えられながら32年間の議員生活を終えることができました。この50年はあつという間でした。

住宅やお店も増え発展しましたが、昔と比べて地域の繋がりが町への関心が薄れてきている印象があります。若い世代の方には、生まれ育った長与を愛し、横の繋がりを大切にしてほしいと願っています。これから更に発展し、子どもたちが「夢」を持てるようなまちを創り上げてほしいと願います。私も一町民として、今までお世話になった長与町に少しでも恩返しできればと思います。



池原 泉氏

長与町議会議員
(昭和46年5月～58年4月)
長崎県議会議員
(昭和62年4月～平成15年4月)
長崎県議会議長(第55代)
社会福祉法人のぞみ会のぞみの杜理事長

16歳で父を亡くし、6人兄弟の母子家庭となったため、高校を中退し、生活していくために、20歳の頃に清掃員の仕事を始めました。昭和46年に議員に初めて立候補した時は、定数18人に対し、立候補者が29人と厳しい選挙戦でした。その中で当選できたのは、自分の生い立ちを知っている地域の皆さまが、懸命に応援してくれたからです。本当に「感謝」の気持ちしかありません。現在、理事長をしている社会福祉法人「のぞみ会」は、お世話になった方々が高齢になって恩返ししたい気持ちから設立しました。これからは志を高く持ち、社会のために役に立てるよう尽力していきたいと思えます。

町のこれまでの発展は、町制施行以前からこの町を支えてきた長与川のおかげです。こんなに潤った川は他にないと思います。まちの大切な資源である長与川をきれいなまま後世に引き継いでいかなければなりません。また、未来を担う子どもたちには、のびのびと健やかに育ってほしいです。長与の子どもたちは、よくあいさつをし、本当に感動します。これからも「あいさつ」が出来る子どもを育ててほしいと願います。いま日本全体として、人口減少の波が来ており、子どもたちにいかに長与に残ってもらうかが課題です。町が更に魅力を増し、発展していくことを願っています。

第12代町長



葉山 友昭氏

在任期間
2000
▼
2012

町制がスタートした時は、長与は「純農村」でした。昭和46年に新都市計画法ができ、前任者の吉田元町長が昭和47年に町長に就任されてからは、都市計画事業が走り出し、町内各地で大改造の動きとなりました。

役場職員時代は、色々な部署で働かせてもらいました。建設部では、学校や公共施設の建設にも携わらせていただき、苦労はありましたが、まちの景色が変わっていくのが楽しくもありました。教育委員会では、公民館の館長も経験させていただきました。高学歴の方が、各種講座や教室に集まってくる中で、役場職員として、こういうアプローチをかけていくかというのは課題でした。しかし、「社会教育」を担当できたことは、自身にとって非常に大きかったと感じています。町長時代には、住環境整備や福祉の充実が求められるなか、「地域をつくるにも、まちをつくるにも、それは「人」である」という信念のもと、人の和を絶えず考え

ていました。人々が「和」すなわち「対話」をする中で、新しい活力が生まれます。

「天の刻は地の利に如かず地の利は人の和に如かず」という言葉もありますが、長与の人が、協調し和を大事にしてきたからこそ、町は50年で大きく発展できたと思います。

また、長与の発展は、長与川なしでは語れません。人々の生活を支えてきた母なる川であり、長与町にとってかけがえのないものです。町民の皆さまには、長与川への感謝の気持ちをずっと持ち続けて欲しいと思います。

長与町が日々発展し続けているのは、町民の皆さまをはじめ町職員のためにも、ぬ努力と長与町を思う気持ちがこの長与を支えているからだと思っています。町は町民の皆さまの協力がなければ成り立ちません。これから先、60年、70年と町民の皆さまと町が更に振興していくことを願っています。それには町民の英知と協力が不可欠です。平成の大合併で、長与町は独自の道を選択してきました。そのことを礎に置き、この50周年を機に、更なる発展を願っています。



村上 光子氏

長与町教育委員会
教育委員
(平成13年10月～29年9月)
長与町教育委員会
教育委員長
(平成22年10月～28年9月)

38年に渡り小学校教諭を務めました。そのうち、長与北小と長与南小に計8年間お世話になりました。現在、長与町の学力は全国トップクラスを維持しています。その理由として、教員が熱心で資質が高く、家庭でのしつけや生活環境が良いこと、また行政が教育に力を入れており、学校・家庭・地域・行政が非常に連携合っていることが挙げられると思います。私の在任当時も教育予算が豊富で、副読本「ふるさと長与」を多彩な写真付きで編集することができ、とても感激したことを覚えています。

私は、「一人一人の子どもを大切に温かみのある教育のまち長与」を自分の中のキャッチフレーズにしています。そこには、学力にプラスして人間的にも成長していけるような町になってほしいという思いがあります。私は、「ありがとう」という言葉と「笑顔」が好きです。「ありがとう」は、言われた人はもちろん言った人も幸せになる魔法の言葉だと思います。そして「笑顔」は、自分にも周りにも良い影響をもたらしてくれる大事なものです。ぜひ「ありがとう」と「笑顔」が溢れる生活を送ってほしいと願っています。現在、趣味で約40年続けている革工芸を公民館で教えています。人に教えるということは、同時に自分が学ぶことでもあります。これからは、子どもたちや地域の皆さまと繋がりを大事にしながら過ごしていきたいと思えます。



ながよをつくる
3つのきせき

第2章

貴石

途絶えることなく
受け継がれ
はぐくまれてきた
貴石のような宝物

きせきを重ねて
未来をはぐくむ

貴石

途絶えることなく
受け継がれ
はぐくまれてきた
貴石のような宝物

受け継いできたもの

Culture

ながよで生まれ、はぐくまれ、途絶えることなく
伝えられてきた先人の教えや文化は
今どのように受け継がれているのでしょうか。

郷土芸能

長与町には、長い年月、地域の人々によって守られ、受け継がれてきた伝統芸能があります。
300年以上も受け継がれている太鼓や、長崎らしさを醸し出す川船、竜踊、神様とのつながりを物語る浮立など。
一人ひとりの熱い想いは時代を超えて積み重なって、現在の賑わいへとつながっています。

獅子舞(吉無田)



獅子は悪魔を払い、五穀豊穡・家内安全を守るといわれ、現在でも、摩利支尊天王神社の祭礼の日に奉納踊りを行っている。長崎くんちにも出演している。

川船(舟津)



明治20年、新築祝いに「川船ばやし」を披露したのが始まり。以来、数々の祝唄や大漁ばやしが作られた。

竜踊(斉藤)



明治時代に岩淵神社の祭神である竜神をまつため踊られた。竜使いの機敏な動作と竜の大きな口から煙を吐く様子は、特異かつ見事な演技で、多くの人々を魅了する。

浮立(平木場)



平木場浮立の特徴は、行列浮立といわれるもので、通常は、傘鉾・矢箱・カラ・ササラ・カケ踊・太鼓・鉦・笛で構成されている。

琴ノ尾太鼓(本川内)



元禄10年(1697)の銘がある元禄太鼓を中心に、昭和62年に和太鼓による組太鼓を編成した新しい郷土芸能。

獅子舞(道ノ尾)



道ノ尾獅子舞は、約200年の伝統を持ち、かつて農耕の里であった道ノ尾・高田越地区にあって豊作祈願や雨乞いの際に演じられた。

浮立(岡)



岡浮立は約200年の歴史をもつ行列浮立で、岡浮立の伝承には岡郷民がこぞって参加し、俗に岡の千人浮立と言われてきた。

にわか(西高田)



西高田のにわか、「人形からい」と呼ばれ、踊る人が人形に背負われているような滑稽な所作は、江戸時代の農民のバイタリティが感じられる。

なぎなた踊



なぎなた踊りは明治時代前期に長与村で生まれ、静流なぎなたに棒術をとり入れたもの。7月の祇園祭では道中踊りとして披露されている。

東高田城跡(高田郷)

東高田城は天満宮公園の西に位置する小高い丘陵にありました。

この城が誰の築城で、いつ建立されたのかは定かではありません。線路を挟んで対面する「西高田城」と一対の出城であり、長崎街道方面からの侵入者を監視する目的をもって建てたことは間違いないようです。



中尾城跡(三根郷・吉無田郷)

中尾城は、非常時に備えるため、天文年間(1532~1554年)に長与権ノ助が築いたとされていますが、実際にはそのような非常事態は起こらなかったと言われています。

中尾城の土塁は、土をたたき締めて幾重にも重ねるという手が込んだ作りをしていたことが明らかになりました。これによって、大変貴重な遺構だとみなされ、町の指定史跡となっています。

浜の城跡(唾飲城跡)(斉藤郷)

天正14(1586)年、大村藩主であった大村純忠の藩下にあった長与村は、地頭の長与太郎衛門純一が治めていました。しかし、謀反の企てが漏れて、藩主純忠の耳に届き、太郎衛門純一が立て籠もる城山を攻め立てました。兵士たちは、遠征の末に急勾配の城山攻めに苦戦し喉が渇いて息絶えだえのところ「梅干し!梅干し!」と叫んで唾を呑み呑み勢いを盛り返した由来から、落城後には「唾飲城(つのみじょう)」と呼ばれる故事が残っています。



遺跡(史跡)

古くは旧石器時代の遺跡が残る長与。連綿と続いてきた歴史を今に伝える貴重な史跡などが、たくさん残っています。

堂崎遺跡(岡郷堂崎)

堂崎遺跡は、堂崎鼻一帯に広がる約2~3万年前(後期旧石器時代)の遺跡です。

遺跡からは、ナイフ形石器や石のやじりなどが採集され、旧石器時代から、縄文、弥生時代を経て古墳時代へと至る町内最古の遺跡です。



長与皿山窯跡(嬉里郷)

長与皿山窯跡は、波佐見焼の分窯的な位置にあります。当時の登窯のぼりがまの全容を解明するため、平成5年度に窯跡3カ所、物原3カ所の発掘調査が行われました。これにより、全長115mにも及ぶ登窯であることと江戸時代には大量の長与焼が生産されていたことが判明しています。



寺屋敷跡・五輪塔群(丸田郷)

寺屋敷跡五輪塔群は、この地のかつての領主、長与一族と関係があるのではないかとみられる墓石です。南北朝時代から室町時代を経て戦国時代までに建立されたもので、このように、古い各時代の五輪塔が並んであるのは長崎県内でも珍しい史跡です。

長与三彩

長与三彩は、江戸時代中期、長与窯で焼かれていた磁器三彩です。冷たい印象のある磁器でありながら、日本古来の漆器の暖かみを感じられる作品もあります。漆手うるしや金彩きんさいなど多彩な技術を用いるなど華麗で芸術的価値も高く、すこぶる発色が良いのも特徴の一つです。



Culture

受け継いできたもの

守つてきたもの

Nature

豊かな山と海が人に恵みを与え、

自然とともに歩み、生まれた産業が

町をはぐくんできました。

長与のみかんは、二百年以上の歴史があり、明治中頃に村島周吉氏によって広く植え付けられ、今日の「みかん産地・長与」の基となりました。その後、戦後のみかん農家の熱心な活動により発展してきました。収穫

されたみかんは、「長崎味ロマン」「ことのみみかん」の名で、日本各地へ出荷されています。現在のみかん作りは脈々と引き継がれており、長与町の特産品として、甘くておいしいと評判です。



情熱を注いだみかん



耕作放棄地の解消と農業振興に寄与するため、長与町の気候条件に適した農作物として、オリーブ栽培の研究を重ねてきました。平成19年、長与町のオリーブ栽培が開始され、今では町内約6ヘクタールに約3,000本のオリーブが植えられています。

平成28年には搾油機が導入され、より新鮮なオリーブオイルを搾油できるようになりました。2019年国際オリーブオイルコンテストでは、銀賞を受賞するなど、6次産業の発展が期待されています。



研究を重ねたオリーブ



つくり育てる 漁業へ転換

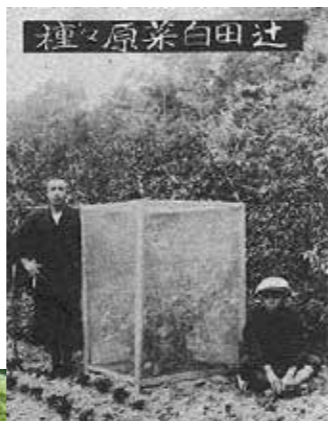
カキ、ナマコ



大村湾に面した長与町の漁業は、刺し網・かご漁業を中心に行われ、タコ・イカ・ナマコ・シヤコなど数多くの魚介類が水揚げされています。現在では「つくり育てる漁業」へ転換を図り、ヒラメやナマコの放流、カキの養殖など、栽培・養殖型漁業を取り入れています。長与町で最も水揚げ量が多いのは

ナマコで、食用だけでなく、黒ナマコ石鹸などにも加工されています。12月中旬から3月まで、長与港前のカキ小屋テントでは、新鮮でクリーミーな大ぶりのカキを堪能できます。

全国に知られた 辻田白菜



大正3年、高田郷百合野の辻田長次郎氏の試みにより始まった完全結球白菜作り。四海楼の主人 陳平順氏の協力を得て、日本で初めて品種の固定に成功しました。その後、評判から種子の需要が高くなり、生みの親である辻田氏の功績を永く残すべく「辻田白菜」と名付け、採種事業が行われました。辻田白菜の名は全国に知られるようになり、注文が殺到し、応じきれ

ないほどだったそうです。事業による収益は、公共事業に投入され、百合野地区の道路などが作られ、地域の発展に大きく貢献しました。昭和36年、採種組合は解散しましたが、種は辻田さんの家系の方が引き継ぎ、伝統野菜として、町内の学校給食にも登場しています。現在百合野団地内にその功績をたたえ、記念碑が建てられています。

伝統を受け継ぐ人たち

先人たちによって
つなげてきた長与を守り、
次の力へと変えていく人々



伝統を守る使命感とともに
獅子舞を「誇り」に生きる

吉無田獅子舞保存会 会長 青田 厳さん

吉無田獅子舞には、中学生から踊り手として関わっており、長崎くんちに獅子として二回出演した経験があります。その頃は街路灯なども無い時代でしたので、みんなでちょうちんをぶら下げて練習場所である公園にむかっていた思い出があります。戦前、吉無田獅子舞が長崎くんちに出演し始めた頃はバスもなかったため、前日の夜行列車でたくさん荷物を運んでおり、会場に向かうだけでも一苦労でした。

現在は保存会の会長として50年以上、吉無田獅子舞の継承・保存に携わっています。私が会長に就任した当時は、保存会の会員は30名ほどでしたが、現在は70名ほどに増えてきています。最近では、長与町民だけでなく吉無田獅子舞にぜひ参加したいと町外の方から

も保存会加入の申し出があるので、非常にありがたいと感じています。保存会の一員である息子も「伝統を守り続けたい」との想いで長与町をはなれず獅子舞を守ってくれており、大変嬉しく思っています。獅子舞の活動をするには、家族の理解と協力が不可欠です。私自身、家族の協力がなければこまごまと活動を続けてこれなかったことでしょう。

未来を担う子どもたちには、郷土芸能などを通じて、生まれ育った長与町に貢献してほしいと願っています。私も今後体力の続く限り、自身の「誇り」である吉無田獅子舞を通じて町へ恩返しをしたいと思っています。



長与の歴史・史跡を
「言葉」で繋いでいく

元長与町教育委員会 教育委員長 近藤 哲夫さん

幼い頃から、好奇心が旺盛で、生き物など色々なものに興味がありました。終戦後に獣医学を学び、理科の教師や農業共済、中央保健所などに務めました。仕事で現地に足を運ぶうちに、地域との繋がりが深まり、持ち前の好奇心から長与の歴史・史跡などにも興味を持つていきました。

平成13年に長与町公民館で開催された「ながよの歴史講座」の講師を代理で務めたことがきっかけとなり、長与の歴史や史跡をより深く学び始めました。郷土誌制作にも写真提供、現地案内などで協力し、郷土誌友の会に入ってから、記念誌の内容を改めて検証しようと仲間とよく現場に赴いていました。長与を深く学ぶ中で、わたしの祖母が、町の史跡の一つである「波多家の墓」の波多家の出身であることも

知ることができました。町の史跡めぐり研修会の講師はすでに退任しておりますが、今でも小学校3・4年生を対象とする社会科の副読本「ふるさと長与」の授業支援や自治会での講演を行っています。話すことで、皆さまに喜んでもらうことが楽しみであり、また新たな活力になります。話す時は、「わかりやすく伝えること」「対等な立場で話すこと」を心掛けています。

長与の歴史は郷土誌などの書籍でも知ることが出来ますが、「言葉」でも繋いでいきたいという気持ちが強くなります。また歴史と同時に、当時の方がどのような生活をしていたかを知ることが大事だと思います。長与の歴史が、これからは次世代へ語り継がれることを願っています。



二十歳からのみかんづくり
地域の農業を守っていく

長崎西彼農協 ことのみ 柑橋部会長 与統括支部長 谷川 義浩さん

50年前を振り返ると、田んぼの中でソフトをしたり、川で泳いだりして遊んでいました。長与では、昔から日当たりがよく、水はけの良い山の傾斜地を利用したみかんの栽培が盛んでした。わたしも、父がみかん栽培をしてきたため、農業大学を卒業後、20歳からみかんづくりを始めました。

長与のみかんは、「味ロマン」などの名前で、主に東京と石川に送られています。美味しいみかんをお届けするため、今まで品種改良を重ねてきました。途中からは、ハウスみかんを始め、「せとか」など新しい種類の柑橘類の栽培に加え、約6年前からは、夏の時期に収穫できるいちじくの栽培も始めました。

全国の温州みかんの生産量は、昭和50年に国の施策の後押しもあり、366



牡蠣やなまこを守り
美しい長与浦を
後世に残していく

大村湾漁業協同組合長 与支部理事 長与浦再生活動組織代表 久松 正隆さん

昭和40年代は、周りは田んぼが広がっており、川には魚などがたくさんいたのを覚えています。秋にはハゼ釣り、夜にはウナギ釣りの光景も見られ、長与川上流にもワタリガニが上がってきていました。残念ながらこの50年間で、川の中にはごみが目立つようになり、子どもたちが川遊びなどをする光景を見ることが少なくなってしまうようになりました。

40歳を過ぎてから飛び込んだ漁業の世界。町の特産物である「牡蠣」や「なまこ」などを中心に、日々頑張っています。さまざまな漁具を駆使しながら、時には高級魚が採れることもあり、大変な中でも楽しみな仕事です。漁獲体験や食育体験も行っており、子どもたちや漁業に興味のある若者まで、多くの方が参加しています。

漁業では後継者不足が深刻です。漁業組合も定数を維持してきましたが、年々高齢化が進んでいます。仕事をしながらでも良いので、若い世代の方に漁業の楽しさを知ってもらえたらと思います。

昔のように生物がたくさんいた浅場に改善するため、「長与浦再生組織」を平成21年に立ち上げました。大学と連携して海を耕したり、ヘドロ化している浅場に土を撒いたりして生物が育つ環境に戻す活動を行っています。子どもたちに再生活動学習も行っており、自然環境を守る意識を育てていければと思います。

これからも、美しい長与川、美しい大村湾を守りながら、受け継がれてきた漁業が発展することを願っています。

志は受け継がれ 新しい貴石へ繋がる



ながよをつくる
3つのきせき

第3章

奇跡

現在そして未来に
つながっていく
尊い奇跡の源

きせきを重ねて
未来をはぐくむ

奇跡

現在そして未来に
つながっていく
尊い奇跡の源

長与町の今、そして未来

Dream

LIFE 生活

身の回りの環境や、暮らし方が変わっていくなか
次の未来へと歩き出す長与町は、
どのような可能性を秘めているのでしょうか。

自然と都市が調和した長与町は、子育てや教育環境が充実した「暮らしやすいまち」として評判。まちでの暮らしは笑顔でいっぱいです。

充実の子育て支援

子どもをもつすべての親が安心して子育てができるよう、長与町ではきめ細やかで充実した支援を行っています。



長与町子育て支援センター (おひさまひろば、5つの児童館)

町内には子育て支援センターが6か所あります。子育てに関する相談、親子のふれあい、お友達作り、情報交換の場として、いつでも気軽に遊びに行くことができます。



母子保健推進員協議会& 各地区に広がる自主サークル活動

母子保健推進員が家庭を訪問し、妊娠・育児に関する情報提供や相談などを行っています。
地域の方が主体の自主サークルでは、0歳児から行くことができる遊び場を提供しています。

パパママ学級&マタニティクッキング



パパママ学級は、もうすぐお母さんやお父さんになる方を対象とした、赤ちゃんのお風呂の入れ方や抱っこ体験など、実習を含んだ楽しい育児のプレスクールです。

マタニティクッキングでは、妊娠中に必要な栄養と食事の量について、楽しく料理しながら勉強することができます。

自然あふれる生活環境

長与町は、美しい山々に囲まれ、波静かな大村湾を臨み、四季折々の風景が広がるまちです。

町の最北端にある堂崎ノ鼻と、琴ノ尾岳の展望台からの眺めは「次代に残そう長崎百景」に選定されている観光スポットです。

また、町の水資源として町民のくらしを支え続けている長与川には、

親水公園もあり、子どもからお年寄りまでが楽しめる憩いの場となっています。

こうした美しい自然をまちの財産として保全するため、長与川や大村湾の清掃活動などの環境美化に努めながら、これからも自然環境と都市機能が調和した生活環境づくりに取り組んでいきます。





長与町武道館 長与町図書館 長与町民文化ホール 長与町民体育館



長与町ふれあいセンター 長与町健康センター 長与町「陶芸の館」 長与町海洋スポーツ交流館 長与町役場



ミニバス

整備された
公共交通

長与町では、日常生活の公共交通手段として、JRと路線バスが幅広く利用されています。町内にはJR長崎本線の駅が4つあり、長与駅から長崎駅まで約16分と通勤や通学にとっても便利です。JR利用者数は年々増加しており、中でも長与駅が最も多くの人に利用されています。

また、路線バスは隣接する長崎市方面、時津町方面への路線で構成されており、町内外の各地の開発に合わせて路線を変更するなど、町や隣接する市町の変化とともに発達しています。

充実した公共施設

教育、文化、スポーツなど、生きがいのある豊かな人生を送るための様々な施設が、町内各地に整備されています。充実した公共施設は、現在の生活に彩りを添えてくれるだけでなく、心身ともに健やかな人を育む地域づくりにも貢献しています。



奇跡 — Dream



本川内駅 長与駅 高田駅 道ノ尾駅

新しい
商業環境づくり

2017年5月、長与町に新しく大型商業施設「イオンタウン長与」が開業しました。多種多様な店舗が軒を連ね、既存の商店街も含めた回遊導線のなかで、様々な用事を済ませることができそうです。

また、西のぎ商工会では、工夫を凝らした各種イベントを開催しており、町内外からおとずれる来場客との交流を通じ、将来の商工業について、新しい可能性を生み出していきます。



長与町では、一年を通して魅力あふれるイベントが開催されています。古くから続く伝統的なイベントは町民の親睦と融和を図り、少しずつ形を変えながら、年々その魅力を増しています。



魅力あふれるイベント



子どもから大人まで楽しめる多彩なイベントは、季節の訪れを教えてくれる大きなまちの財産です。



見て、触れて、生きる力を学ぶ

通学合宿

地域の子どもたちが共同で生活し、公民館などに寝泊まりしながら学校へ通う取り組みです。炊事・洗濯・掃除など日常的な家事を自分たちの力でやることによって、子どもたちの社会性や自主性、「生きていく力」を育みます。また、地域の方々に調理補助やもらい湯などの協力を得ることで、地域教育のネットワークを広げ、地域の子どもは地域で見守り育むという機運が高まることが期待されています。



ICT活用

人とモノをつなぐIoT (Internet of Things)、幅広く活躍するロボット、膨大な情報をもとに学習に必要な情報を提供する人工知能 (AI) など、子どもを取り巻く環境は、凄まじいスピードで、進化しています。

長与町では、プログラミング用ロボットの活用やタブレットの導入など、小学校1年生から中学生まで様々な形で情報通信分野を体験しながら学習することで、社会性と問題解決能力を向上させ、新しい社会「Society 5.0」を担う人づくりを推進しています。長与町の子どもたちは、超スマート社会においても自立した人材となることを目指しています。



STUDY 学び

幼児教育から大学までそろった「文教のまち」は、学力の向上とともに、生きる力の育成に力をいれていきます。

ながよの教育

長与町の教育は、『楽しい学校 温かい家庭 住み続けたい長与』を合言葉に、地域・家庭・学校が一体となり、共に手を携えながら、一人ひとりの子どもの幸せを願い、心豊かで自ら学ぶ賢さ、多様な個人を尊重し命の大切さを知る優しさ、郷土愛にあふれ支え合える逞しさを兼ね備えた、「生きる力」を持つ長与っ子を地域で育てることを目指します。

現在、全国学力テストにおいて、毎年、全教科の正答率が全国平均を上回っており、県下トップクラスの学力水準を維持しています。

ながよ検定

町立小・中学校では、長与町にしかない特別な「検定テキスト」が配られます。ながよ検定を経験することで、基礎学力を蓄え、充実感を実感し、楽しさに満ちた学校教育の実現を目指しています。



英語教育

夏休みに、中学生を対象とした外国人と英語で交流するコミュニケーション活動の場を展開したり、冬休み・春休みに小学生を対象とした英会話教室を開催したりと国際化が急速に進展しているグローバル社会において、国際感覚のある個性豊かな人材を育成しています。



ブックスタート

3~4ヶ月健診時に、保護者の方へ「絵本」と「赤ちゃん絵本を楽しむ体験」をプレゼントする活動です。「絵本」が赤ちゃんに温かい時間を共有し、赤ちゃんに対して深い愛情を与える1つのコミュニケーション・ツールとなることを紹介し、子育てに悩む保護者の方へ励ましの声を届けています。



自立した生活を続けられるための、介護予防の取り組み



お元気クラブ

65歳以上の方を対象に、体操、軽スポーツ、レクリエーションなどを行う集いの場です。季節の行事やゲームなど、バリエーション豊富な活動で、楽しみながら介護予防に取り組んでいます。

「住み慣れたまちで自分らしく暮らせるまちづくり」のために、関係機関が一体となった地域包括ケアシステムの構築を目指します。

その取り組みの一つとして、高齢者がいつまでも健康で、ひとりひとりが生きがいをもって、いきいきと毎日を過ごすことができるように、介護予防事業を展開しています。



ながよみかんカフェ

「ながよみかんカフェ」（認知症カフェ）は、だれでも気軽に立ち寄り、お茶を飲みながらおしゃべりや相談ができる場です。また、認知症への理解促進や家族介護をされている方の情報交換の場ともなっています。



いきいきサロン

高齢者の閉じこもり予防や交流を目的に、地域住民のボランティア活動によって運営されている集いの場です。



食育活動

食生活改善推進員、健康づくり推進員、健康ながよ21推進専門委員のボランティア団体が、様々な場面で食育活動に取り組んでいます。



健康相談

長与町役場、まんてんにおいて、毎月1回の健康相談を実施しています。健康について考える良いキッカケを提供します。

ヘルシーウォーキング

長与町では、町民総歩きを目指して、年に3回ウォーキング大会を開催しています。長与の美しい景色を堪能しながら、体力の維持増進に取り組んでいます。



HEALTH
健康

すべての町民がいきいきと暮らせるように「健康づくり」に取り組んでいます。

「健康」は、毎日を明るく、いきいきと暮らすために欠かせないものです。長与町では、健康づくりが気軽に始められる環境づくりを行っています。

また、子どもから高齢者まで、健康寿命の延伸などを目標に健康づくりに取り組んでいます。

様々な面から健康づくりをサポート

Dream
長与町の今、そして未来

洋画家 | 辻本 健輝さん



〈プロフィール〉

高校卒業後、当時最年少で県展「野口彌太郎賞」を受賞。全国コンクールなどに出展し、キャリアを積んでいく。20歳から絵画教室を任せられ、町内外で絵画教室3つを主宰。23歳の時に日動画廊が主催する若手画家の登竜門、昭和会展で松村謙三賞を受賞。同年、長与町に「長与町洋画部会」を立ち上げ代表を務める。

〈主な大会成績〉

- 2007年 長崎県展 野口彌太郎賞、長与町教育文化奨励賞
- 2008年 佐藤太清賞公募美術展特選
- 2013年 第48回昭和会展 村松謙三賞 第11回春季二紀展新人選抜大賞 長与町教育文化奨励賞 九州二紀展九州二紀賞
- 2015年 アートオリンピア2015 片岡鶴太郎特別賞



〈メッセージ〉

30代の抱負は全国コンクールでのキャリア作りの継続、NYでの個展、海外研修など個人の画業は勿論長崎に新しい作品発表の場を設け、国内外で活躍するアーティストとの交流・研鑽を目的とした企画や若手画家・子ども達の人材育成など、長崎の美術の為に少しでも貢献できたらと思っています。

バイオリニスト | 中西 弾さん



〈プロフィール〉

5歳からバイオリンを習い始める。小学生からはジュニアオーケストラに入り、多くのコンサート海外公演などを経験。最近では作曲も手掛け、TVやラジオ、ミュージカル等の舞台にオリジナル曲を提供。趣味はサッカーやジョギング、釣り、キャンプ。

〈主な大会成績〉

- 第7、10、12回ながさき若い芽のコンサート出演
- 第36、38回長崎県高校音楽コンクール金賞受賞
- 第10回宮日音楽コンクール優秀賞受賞



〈メッセージ〉

素晴らしい緑、海、空に囲まれた長与町には、魅力あるお店がたくさんあります。私もよくお店で弾かせてもらいますが、県内外の方に長与の良い所を知ってもらうためにも、ぜひ続けていきたいです。

自然の中でのびのびと音楽を楽しんできた私の「感性」と「音」を育ててくれた長与町。この町に少しでも音楽を通して恩返しならぬ「音」返しができたら嬉しいです。

カヌー選手 | 水本 圭治さん



〈プロフィール〉

岩手県出身。2014年の長崎国体の指導員兼選手として2012年から長崎での活動を始める。現在(株)チョープロに所属。2020年の東京オリンピック日本代表に内定。

〈主な大会成績〉

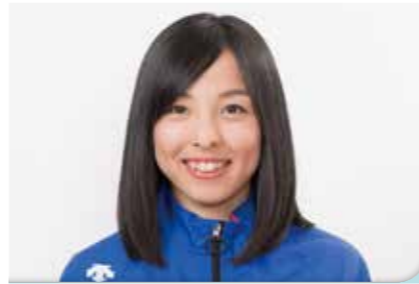
- 2018年 日本スプリント選手権 カヤックシングル1,000m優勝 カヤックシングル500m優勝 カヤックフォア500m優勝 第18回アジア大会(ジャカルタ) カヤックフォア500m 4位 カヤックペア1,000m 5位
- 2019年 世界選手権大会 男子カヤックフォア500m 3位



〈メッセージ〉

目標は、東京オリンピックでメダルを獲得することです。出場するからにはメダル。メダルを獲るからには一番良い色を目指して更に頑張りたいと思います。この機会に皆さまにもぜひカヌーを知っていただき、東京オリンピックでは、わたしを含むカヌー日本代表の応援をよろしくお願いします。

陸上選手 | 森 智香子さん



〈プロフィール〉

長大附属小学校の校内マラソンをきっかけに同中学進学後陸上競技部へ入部。諫早高校から埼玉県の大東文化大学を経て現在は積水化学工業(株)に所属。千葉県柏市を拠点に活動中。種目は3000M障がいや駅伝を中心に、1500M～ハーフマラソンまで。愛称は「もりちか」。身長159cm。

〈主な大会成績〉

- 2017 第101回日本陸上競技選手権大会3000M障がい 優勝
- 2018 第60回東日本実業団対抗陸上競技選手権大会3000M障がい 優勝
- 2018 第102回日本陸上競技選手権大会3000M障がい 6位
- 2019 第59回唐津10マイルロードレース女子10km 2位



〈メッセージ〉

今後の目標は3000M障がい東京五輪・世界陸上出場、そして日本記録更新。長与町の方には「頑張ってるね」「テレビや新聞で見たよ」などいつも応援していただけてとても嬉しく思っています。住み良い長与町が私は昔から大好きです。結果で地元へ恩返しができるよう頑張ります。これからも応援よろしくお願いします。

柔道選手 | 桂 嵐斗さん



〈プロフィール〉

身長170cm、体重66kg、血液型A型。3歳の頃から柔道を始める。現在日本大学に在学。最近の趣味は映画鑑賞。好きな食べ物はいちご、肉、ヨーグルト。

〈主な大会成績(66kg級)〉

- 2017年 全日本カデ 優勝 世界カデ個人戦 優勝
- 2018年 全国高校総合体育大会柔道男子個人 優勝
- 2019年 夏季ユニバーシアード(イタリア・ナポリ) 銀メダル



〈メッセージ〉

現在大学1年生で、まだ大学の壁にぶつかっていますが、絶対にこの壁を破り、結果を出して、目標としている「2024年のパリオリンピックに出場して優勝」を成し遂げたいと思います。これからも一所懸命に精進して結果を出し、皆さまに元気をお届けできるように頑張ります。これからも応援よろしくお願いします。



先人たちによってつながられてきた長与を守り、次の力へと変えていく人々
自然に囲まれ、教育・文化、そして人づくりに力を入れてきた長与町。
この町に生まれ、豊かな感性と健やかな心身を持つ「長与人」は、
今のような活躍をしているのでしょうか。

躍動する長与人

ちからを未来へ





ソフトボール

赤坂 優真さん

〈プロフィール〉

高田小学校、高田中学校を卒業。父の影響を受け、ソフトボールを始める。ポジションはショートで右投げ、右打ち。身長173cm、体重70kg。ソフトボールの名門大村工業高校に進学し、将来は日本代表を目指す。

〈主な大会成績〉

- 第53回全日本高校男子選手権（全国高校総体）準優勝
- 第36回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会優勝
- 第37回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会優勝
- 第54回全日本高校男子選手権（全国高校総体）優勝

〈メッセージ〉

社会人でもソフトボールをしていくので、チームに貢献できるように頑張りたいと思います。これからも応援よろしくお願いします。

ソフトボール

天田 竣介さん

〈プロフィール〉

高田小学校、高田中学校を卒業。小学4年、仲良しの赤坂優真君が所属していた『こうだ小そふと部』に入部。投手だった優真君の球を受けたいとの思いで、当時から捕手をしていた。ソフトボール日本一を目指し、名門大村工業高校へ進学。将来は日本代表を目指す。

〈主な大会成績〉

- 第53回全日本高校男子選手権（全国高校総体）準優勝
- 第36回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会優勝
- 第37回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会優勝
- 第54回全日本高校男子選手権（全国高校総体）優勝

〈メッセージ〉

高校卒業後もソフトボールを続け、日本代表という大きな目標とともに、今まで支えてくれた恩師、家族へ恩返しできるよう頑張りたいです。また、部活動をなにごとなくやってこられたのは、大勢の皆さんのご協力のお陰だということを学びました。今後は自分が社会に貢献できる人になりたいです。



ラグビー

長与ヤングラガーズ

〈プロフィール〉

1987年に設立。幼児からシニアまでの幅広い年齢層の会員が所属しており、100人を超える部員が活動。普段は、小学部と中学部に分かれ、長与総合公園運動公園広場をホームグラウンドとして練習。

〈主な大会成績〉

- 平成29年2月 長崎県スポーツ表彰 社会体育優良団体賞受賞
- 平成30年度 生涯スポーツ優良団体表彰（文部科学大臣表彰）



〈メッセージ〉

楯球の魅力を通して生涯スポーツの推進をしており、幼年から壮年まで、また男女を問わずラグビーの楽しさを体験できる場を創るとともに、全国で活躍する幾多の名選手を輩出してきました。これからも、わが町長与が「長崎ラグビーの聖地」となるために活動を続けていきます。

登山



長崎北陽台高等学校登山部

〈プロフィール〉

登山部は男子1981年、女子1983年創部。約15kgの荷物を背負っての訓練、テントの設営、山域などの基本知識の学習など、体力・技術・知識を培い、「安全かつ楽しい」登山を目指し、部員一丸となって練習。

男子主将 廣瀬 巧実（3年）
女子主将 増田 彩乃（3年）

〈主な大会成績〉

- 県高総体 男子15年連続31回目の優勝
女子2年連続21回目の優勝
- 県新人戦 男子12年連続28回目の優勝
女子3年連続24回目の優勝
- 九州大会 男子5年連続20回目の優勝
女子2年連続13回目の優勝
- 全国大会 令和元年度男子優勝、女子準優勝
なお、全国大会では男子は92年以降、合計8度の優勝。女子は04年に優勝。

〈メッセージ〉

本校の登山部は全員初心者からのスタートです。先輩たちが築き上げた伝統を守り、山を愛し、登山を楽しむ心をもって、これからも登り続けます。また、長与の子どもたちにも山の魅力を伝え、本校の登山部に是非入って山を共に楽しんでもらえればと思います。これからも長崎北陽台高校登山部をよろしくをお願いします。

森 健音さん

〈プロフィール〉

現在長崎日本大学高等学校3年。小学時代は金管楽器を演奏し、中学2年の時に合唱部の先生との出会いをきっかけに吹奏楽部から合唱部へ移り合唱を始め、中学3年から声楽の勉強を始める。現在は、音大の進学を目指し様々なコンクールに出場。

〈主な大会成績〉

- 第21回九州音楽コンクール声楽部門高校生クラス 最優秀賞 高校の部1位
- 第11回東京国際声楽コンクール地区大会最優秀賞
- 第57回長崎県高等学校音楽コンクール金賞（長崎県代表）1位
- 第73回瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール 長崎県代表出場決定
- 第32回ながさき“若い芽”のコンサート出演 ほか

〈メッセージ〉

幼い頃から緑豊かなサニータウンに住み、近くの中尾城公園でよく遊んでいました。以前「平和コンサートinながよVOL12」に出演させていただいた際は、Jrオケの練習は大変でしたが、音楽が繋ぐご縁、出逢いがあり、たくさんの事を学ばせていただきました。いつか長与町の皆さまへ心に残る音楽をお届け出来るように、夢に向かって一生懸命頑張ります。



声楽

陸上

廣田 麟太郎さん

〈プロフィール〉

小学5年生の時、両親の勧めで長崎陸上クラブに入り、陸上競技を始める。長与第二中学校陸上部に入部後は短距離が中心だったが、中学2年の秋から跳躍競技（三段跳、走幅跳）に本格的に取り組む。現在長崎日本大学高校陸上部に在籍。

〈主な大会成績〉

- U18日本室内陸上競技大阪大会 中学男子走幅跳3位
- 国民体育大会 少年男子B走幅跳8位入賞
- 全国高等学校陸上競技対抗選手権大会（インターハイ） 男子三段跳3位、男子走幅跳6位入賞
- 全国高等学校陸上競技選抜大会 男子二段跳 優勝

〈メッセージ〉

顧問の先生の勧めで中学2年生から跳躍競技に本格的に取り組んでいます。先生方からの指導を受けて、全国大会や九州大会での優勝や入賞など良い成績を残すことができています。これからも陸上競技を続け、しっかりと練習して競技力を高め、さらに記録を伸ばし、長与町のスポーツ振興にお役に立ちたいと思います。



ラグビー

長崎北陽台高等学校ラグビー部

〈メッセージ〉

いつも本校ラグビー部の活動について、暖かい声援をいただき感謝しております。本年度のチームは、昨年度の花園ベスト8を越えることを目標とし、日々練習に励んでいます。これからも地域の方々に応援される部を目指し頑張っていきますので、宜しくお願いします。

〈プロフィール〉

ラグビー部は1979年に同好会として発足。1980年創部、現在38名が所属。チームカラーは青。チームコンセプトは「鉄になれ!」。「我が身を挺してボールを生かせ」現主将の岡崎颯馬（3年）を中心に全国ベスト4以上を目標に活動。

〈主な大会成績〉

- 1989年花園初出場
- 1994年花園準優勝 花園に17回出場 うち準優勝1回、ベスト4 1回、ベスト8 3回
- 令和元年度長崎県高総体 2年連続18回目の優勝
- 令和元年度全国7人制大会3位



5・6年生
(長与小)



長与小学校 全校児童 903名

1・2年生
(長与小)



3・4年生
(長与小)



洗切小学校 全校児童 265名

1～6年生
(洗切小)



未来にはばたく子どもたち

小学校5校と中学校3校、長与町の子どもたち

未来のちから

長与南小学校 全校児童 574名

1～3年生
(長与南小)



長与北小学校 全校児童 299名

1～6年生
(長与北小)



4～6年生
(長与南小)



高田小学校 全校児童 194名

1～6年生
(高田小)



高田中学校 全校生徒 194名

1～3年生
(高田中)



長与中学校 全校生徒 513名

1年生
(長与中)



2年生
(長与中)



3年生
(長与中)



長与第二中学校 全校生徒 397名

1～3年生
(長与第二中)



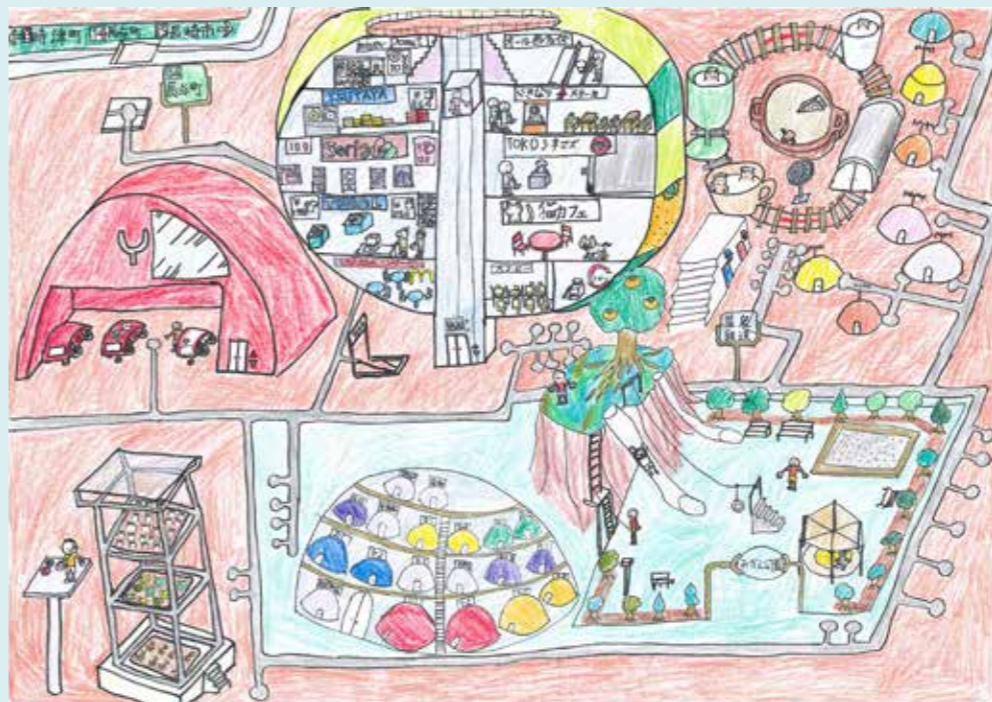
長与町の今、そして未来

子ども達は、今どんな思いで長与に住み、
どんな夢をもって過ごしているのでしょうか。

町制施行50周年を記念して、町への誇りや愛を深めてもらうことを目的に、「50年後の長与町未来予想図」(絵画)と、「長与町に対する思い」の標語を募集しました。数多く寄せられた作品の中から入賞者を決定しました。

絵画

50年後の長与町未来予想図



最優秀賞

島田 藤士さん
(高田小学校)

50年後のにぎやかな長与町

- ・50年後の車はリアモーターカーになっていると思いました。
- ・土地が少ないから畑は3階建てにしました。
- ・丘を整地してチューブスライダーがある「みかんの丘公園」も描きました。
- ・温泉が鉄道になっています。

優秀賞

本間 拓見さん
(長与小学校)



増田 楓音さん
(長与南小学校)



佐藤 結月さん
(高田小学校)



池田 脩真さん
(長与南小学校)



吉永 羽優さん
(長与南小学校)



標語

長与町に対する思い

最優秀賞

大好きな
みかんの香り
ふるさと
故郷の風

平尾 太洋さん
(長与第二中学校)

優秀賞

助け愛 伝統繋ぐは 長与っ子

谷川こまちさん
(長与中学校)

地域の輪 自然とやさしさ

あふれる長与
佐藤 太亮さん
(高田中学校)

人たえず 笑顔あふれる

未来の長与
緒方 優姫さん
(長与中学校)

川の流れ 人の優しさ いつまでも

原田 雅大さん
(長与第二中学校)

ここよかばい自然 ここよかばい人

ここよかばい長与町
平野 太智さん
(高田中学校)

長与町民アンケートランキング

長与町民に聞いた“あなたのマイベスト”

Message 長与町について 思うこと

私は、長与町に住んで50数年になりますが、すばらしい町だと思います。みかん山、大村湾にかこまれて住みやすいし、いろいろな行事があって、楽しい。町民がやさしくてすばらしい。毎日が楽しいです。
(80代以上男性)

長与にきて10年。素敵な出会いに支えられ、家族4人が幸せを感じながら暮らしています。この先、地元でゆっくりしたい、帰りたいと思えるような家庭を長与町で築いていきたいです。
(30代女性)

高齢者にとって数多くの講座などがあり楽しく過ごせています。
(70代女性)

長与みかん
うまかばい!
ミックン家族
がんばれ!
(50代男性)

ミックンのキャラクターが大好きです!これからもグッズを楽しみにしています。
(30代女性)

転勤で一度目は長与へ住みました。その時人との結びつきが大変温かかったのでぜひ住みたいとこちらに落ち着きました。心の優しさ、ぬくもりをこれからも感じられる住みよい長与町であってほしい。
(50代女性)

小学2年生の時の担任の先生は長与町出身で「長与はいい所よ」というのが口ぐせでした。それから50年後、長与町に転居して来ました。夕日を見るたびに「長与はいい所よ」と先生の声がよくあえます。
(60代男性)

長与で育って大人になっても住みたいと思いい今でもずっと長与に居ます。心温かい住みやすい長与でいつまでもあってほしいと思います。
(30代女性)

長与っ子が元気いっぱい育てる町づくりをみんなでやっていきましょう!
(30代男性)

子どもの頃に長与を離れましたが、就職して戻ってこれて良かったです。とても住みやすい町だと思います。
(20代女性)

結婚で長与に移住してきて周囲に友達もいない中、子供が生まれてからは子育て支援センター「おひさまひろば」に大変お世話になりました。いつも傍で相談に乗ってくださる先生方、そこで出来たお友達。本当にありがとうございました。子供達が健やかに成長できる環境が整った町づくりを、今後ともよろしく願います。
(40代女性)

これからも、子どもたちが元気で楽しく暮らせる町であればと思います。
(40代男性)

大好きな長与町でたくさんのお友達ができたよ。僕のおひさま広場の毎日は宝物だよ。
(10代未満男性)

桜を祖父母と毎年の中尾城公園に見に行くのが楽しみです。家族全員が笑顔になりました。
(10代女性)



Question 長与町のおすすめスポットは?



第1位 中尾城公園 36.4% 40票

第2位 潮井崎公園 8.2% 9票

第3位 琴ノ尾岳・堂崎ノ鼻・長与川 7.3% 8票

その他の回答
■和三角公園 ■シーサイドストリート ■長与駅 など

Question 長与町の1番好きな風景は?



第1位 琴ノ尾岳からの風景 19.1% 22票

第2位 中尾城公園からの景色 16.4% 19票

第3位 堂崎ノ鼻 9.5% 11票

その他の回答
■潮井崎公園からの景色 ■大村湾 ■長与川 など

Question 長与町のいいところは?



第1位 自然豊かで美しい 20.4% 23票

第2位 人が優しい 10.6% 12票

第3位 住みやすい 8.8% 10票

その他の回答
■静か ■のどかでのんびりしている ■教育や講座に力を入れている など

Question 長与町で1番好きなイベントは?



第1位 長与川まつり 30.0% 33票

第2位 長与シーサイドマルシェ 9.1% 10票

第3位 平和コンサート 7.3% 8票

その他の回答
■町民体育祭 ■町民文化祭 ■長与町パーロン大会 など

Question 長与町にあると嬉しいものは?



第1位 食事処・カフェ 12.5% 13票

第2位 図書館 11.5% 12票

第3位 映画館 9.6% 10票

その他の回答
■プールなどスポーツ施設 ■公園 ■体験型レジャー施設 など

アンケートにご協力いただいたみなさまありがとうございました!

町民アンケート回答者	130人
【年代】	10代未満 5人 10代 9人 20代 11人 30代 15人 40代 15人 50代 16人 60代 14人 70代 24人 80代以上 16人 無回答 2人
【性別】	男性 48人 女性 80人 無回答 2人
【年代】	無記入 5人

幸福度日本一のまちへ

Q 長与町誕生から50年。これまでを振り返ってみていかがですか？

明治22年村制施行の人口が5〜6千人で、昭和44年町制施行当時は1万3千人となりました。この人口の増加は、明治31年にJ.R(旧国鉄)長崎本線が敷設されたことによるインフラの影響が大きかったと思います。かつての長与町は米とミカンの純農業地帯でしたが、団地が少しずつ造成され、昭和44年頃には3つの団地が揃い、それが今の長与町の出発点となりました。団地造成とともに長与町は大きくなり、旧町民と新町民が混じわってまいりました。その新旧町民のつながりを作るのに一役を担ったのが、体育行政でした。特に長与町はソフトボールが盛んで、大会を何回も開催することで町民同士の交流が図られてきました。現在は50の自治会と5つのコミュニティを中心に、体育・文化双方の取組が展開されています。このようにして長与町のコミュニティが出来上がってきたと感じております。

Q 現在の長与町はどのような町ですか？

長与町は豊かな自然と団地造成によって、その自然美と造形美によるハイモニー豊かな町です。また、教育については、保護者・学校関係者・教育委員会など町を挙げて取り組んでいただき、児童生徒の学力も全国トップレベルです。特に嬉しいのは、子どもたちが元気にあいつがでることです。町民の自治会活動やコミュニティ活動への高い意識が、地域ぐるみで子どもたちを見守り、育てていく環境へと繋がっているといます。「まちづくりの原点は人づくり」にあります。そういった人づくりを充実させた町というのが、本町の個性であると言えないかと思っています。そして、健康づくりに関しても県下で高く評価されているように思います。

Q これからの長与町の抱負は？

高田南土地区画整理事業はもう30年近くになり、地域の皆さま方にはご迷惑をおかけしておりますが、なんとかこの5年間で仕上げたいと思っております。

これが完了することで、長崎市・長与町・時津町で結んでいる長崎広域連携中枢都市圏も活きてきて、このあたり一帯が元気で明るく活力ある地域になってくるのではないかと思います。

また、渋滞緩和を図るために国道206号へ繋がる道をもう1本つくるように、現在、長与・時津両町で検討を始めております。国道207号につきましても、大村湾を取り囲む地域の方々を中心に、諫早市と連携し、道路環境の整備を進めてまいります。

そして現在、特に取り組んでいます「子育て」「教育」「健康づくり」を更に充実させることで、子どもを安心して産み育て、誰もがいきいきと健やかに暮らせるまちづくりを目指してまいります。これらの取り組みによって、さらに魅力ある町として、町内外の方々にも新たな長与町を発見していただけるのではないかと期待をしております。今、町民の皆さまが一番待ち望んでいるのは、新図書館建設にあるのではないのでしょうか。できるだけ早く取り掛かり、長与に相応しい図書館をつくりたいと考えております。

長与町長 吉田 慎一



皆さま方がいきいきと活動・交流できる場所、そしてゆったりと心からくつろげる居場所づくりを一日でも早く実現させたいと思っております。

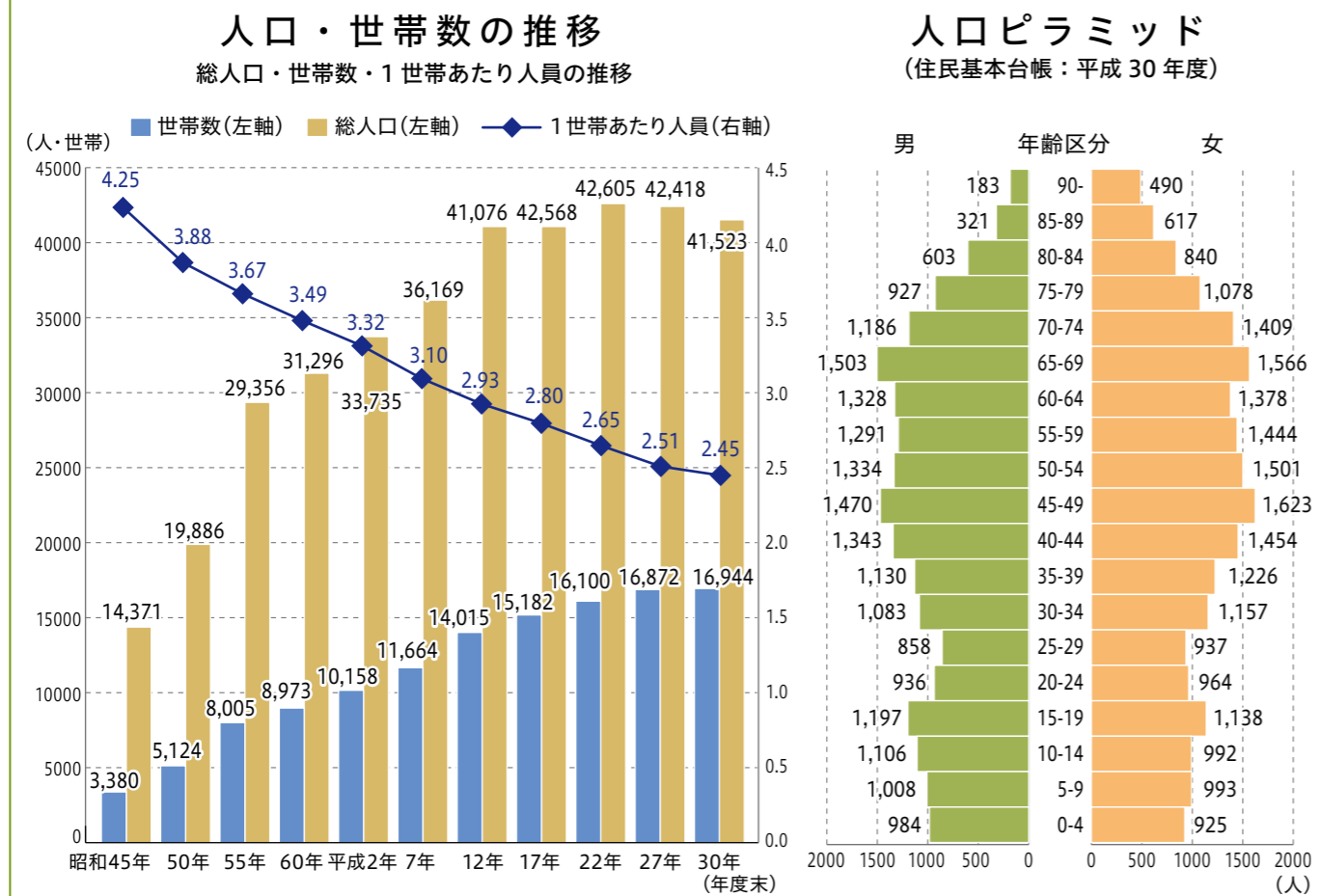
Q 町民の方々へのメッセージをお願いします。

町制施行50周年を迎え、記念事業や町民の皆さまの自主提案の企画等を通じて、50周年をともに作り、盛り上げ、お祝いすることができ、大変嬉しく思っております。この節目は、これからの長与町の50年を始める第1歩です。これからまた10年、20年、30年と長与町は続いてまいります。「住みたい、住み続けたい、住んでよかった」と思ってもらえるまちづくりに取り組んでまいりますので、皆さま方のお一層のご指導ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

数字で見る50年の歩み

長与村が長与町になって50年。この歳月の中で、長与町も大きく変わってきました。町制がスタートした昭和44年と現在のデータを比べて、変化の大きさを測ってみましょう。

町の暮らし	人口	世帯数	1世帯あたり人員	人口密度	出生率(人口千人当)
長与町の主要指標を50年前と比べてみると・・・	41,925人 平成31年1月1日現在	16,986世帯 平成31年1月1日現在	2.47人 平成31年	1,459.3人/km ² 平成31年	9.7% 平成29年
	13,504人 昭和44年	2,994世帯 昭和44年	4.51人 昭和44年	475.5人/km ² 昭和44年	20.3% 昭和44年
	↑3.10倍	↑5.67倍	↓0.55倍	↑3.07倍	↓0.48倍
年齢別人口			就業者数		
0~14歳	15~64歳	65歳以上	第一次産業	第二次産業	第三次産業
6,008人 平成30年	24,792人 平成30年	10,723人 平成30年	633人 平成27年	3,776人 平成27年	15,181人 平成27年
3,833人 昭和40年	7,446人 昭和40年	799人 昭和40年	1,929人 昭和40年	1,494人 昭和40年	1,754人 昭和40年
↑1.57倍	↑3.33倍	↑13.42倍	↓0.33倍	↑2.53倍	↑8.66倍
民営事業所数	商店数	農家数	選挙人名簿登録者数	歳入決算額	
1,091箇所 平成28年	261店 平成28年	466戸 平成27年	34,352人 平成31年	12,945百万円 平成30年	
317箇所 昭和44年	117店 昭和43年	911戸 昭和40年	8,576人 昭和44年	284百万円 昭和43年	
↑3.44倍	↑2.23倍	↓0.51倍	↑4.01倍	↑45.58倍	



Information

長与町 概要

位置・地勢

長崎市の中心部から北約10キロメートルに位置し、東は諫早市、西は時津町と接しています。
町内最高峰の琴ノ尾岳や中部の丸田岳をはじめ三方を山に囲まれた盆地や丘陵地帯に市街地が広がります。その中心部を流れる長与川は波穏やかな大村湾に注がれています。

【位置】
(役場)

東経 129°52' 39"
北緯 32°49' 19"

【面積】
28.73km²

【広さ】
東西 8km
南北 12km

町章

ナガヨの「ナ」を鳥が飛ぶ様に見立てたもので、円の部分で円満性を、両翼と三角形の頭部で飛躍と発展性を表現しています。昭和42年公募により制定しました。



町民の誓い

- わたしたちは、住みよい町づくりのため、次のことを誓います。
1. 緑と花にかこまれた、美しい町をつくります。
 2. 公害や交通事故のない、住みよい町をつくります。
 3. 老人や子どもを大切に、明るい町をつくります。
 4. たがいに助けあい、豊かな町をつくります。
 5. 体育・文化を育て、健康な町をつくります。

平和のまち

核兵器の廃絶と恒久平和を願い、平和の尊さを次世代へ継承していくため、様々な取り組みを行っています。



平和記念碑「愛・二人」

町花・町木 うめ

毎春、梅は他の草木に先がけて花をつけるとともに、純潔・謙虚・忍耐を表す花とも言われ、本町が他に先がけて物事に取り組み、実現してほしいとの町民の期待が込められています。



イメージキャラクター 「ミツクン」

町制施行30周年記念として、平成11年に、長与町をよりよくPRするため、イメージキャラクターを一般公募。長与町の特産品であるミカンモチーフに、ミカンの葉に乗って大空へ飛び立つ元気な子どもの様子をイメージした「ミツクン」が誕生しました。



長与町町歌

明日をひらく

作詞 山田 喜孝 作曲 指方 浩

一. 緑よ 山よ さやかな風よ
空は真澄みて 琴の尾の
山のすそ野に ひらけたる
美しい里 わが町長与

※ 愛と心と ふれあいの
夢と望みが ふくらんで
明日をひらく 歓声はずむ
明日をひらく 歓声はずむ

二. 光よ 川よ さやかな風よ
流れ静かに 長与川
川沿いの町 生き生きと
豊かな里 わが町長与

(※)

三. 銀波よ 海よ さやかな風よ
広く優しい 琴の海
輝く歴史 漂って
平和な里 わが町長与

(※)



発行日 令和元年 11 月 3 日
発行 長与町
〒851-2185
長崎県西彼杵郡長与町嬉里郷 659 番地 1
TEL.095-883-1111 (代表)
FAX.095-883-1464

企画・編集 長与町役場 総務部 秘書広報課
制作・印刷 川口印刷株式会社

き
せ
き

長与町町制施行 50 周年記念誌

NAGAYO TOWN 50th anniversary



すこやかな
未来をはぐくむ
長与町